



岩手労働局発表
平成29年6月15日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
主任衛生専門官 福田 利文
(電話) 019 - 604 - 3007

平成29年1月～5月分(速報値)の 労働災害発生状況を公表します

～平成29年(1月～5月)の死傷者数は、前年同期比3.7%の増加～

岩手労働局(局長 久古谷 敏行)は、平成29年5月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成29年1月～5月(5月末現在の速報値)の死傷者数は479人となり、前年同期比で17人(3.7%)の増加、死亡者数は6人と前年同期比で3人の減少となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成29年1月～5月の労働災害発生状況(平成29年5月末現在 速報値)

1 死傷災害(休業4日以上)【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は479人で、前年同期比で17人、3.7%の増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「保健衛生業」48人(前年同期比+15人、+45.5%)、「製造業」103人(同+7人、+7.3%)、「運輸交通業」49人(同+6人、+14.0%)などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「農林業」20人(同-9人、-31.0%)、「接客娯楽業」23人(同-7人、-23.3%)、「商業」70人(同-4人、-5.4%)などとなっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、151人(31.5%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、73人(15.2%)、「はさまれ・巻き込まれ」60人(12.5%)となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計の死亡者数は6人で、前年同期(5月31日までに報告のあった人数)比で3人(33.3%)減少しました。

(2) 業種別の状況

業種別では、「運輸業」で2人、「製造業」、「建設業」、「林業」、「接客娯楽業」で各1人となっています。

【表1】

労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

平成29年 1月～5月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡	宮古	釜石	花巻	一関	大船渡	二戸
	29年	28年									
製造業	食料	8	-1	-11.1%		1	2				
	水産食料品	24	-4	-14.3%	5			9	6		5
	上記以外の食料品	8	3	5	166.7%						
	繊維・衣服その他繊維製品	14	10	4	40.0%	5	2	1	5		
	木材・木製品、家具・装備品	1	1	0	0.0%		2	1	3		3
	パルプ・紙、印刷・製本	5	6	-1	-16.7%	1		1		2	1
	化学工業	7	4	3	75.0%	1		4	2		
	窯業土石	4	1	3	300.0%	1		1	2		
	鉄鋼業、非鉄金属	10	16	-6	-37.5%	6		4	4		
	金属製品	3	2	1	50.0%			2	2		
	一般機械器具	1	4	-3	-75.0%			1	1		
	電気機械器具	6	7	-1	-14.3%			4	4	1	1
輸送用機械製造											
電気・ガス	12	5	7	140.0%	5	2	1	3			
その他の製造	103	96	7	7.3%	24	7	6	36	15	8	
小計	3	3	0	0.0%		4	6	7	4	4	
建設業	土木工事	36	32	4	12.5%	4	2	2	2	2	7
	鉄骨・鉄筋家屋	9	6	3	50.0%		1	2	2	3	2
	建築工事	19	34	-15	-44.1%	4	1	2	6	2	2
	木造家屋	13	5	8	160.0%	6	2	2	3	2	2
	その他の建築工事	13	14	-1	-7.1%	5	2	1	1	4	1
	その他の建設	90	91	-1	-1.1%	21	8	11	19	12	9
	小計	45	40	5	12.5%	19	2	14	14	7	2
	道路貨物運送業	4	3	1	33.3%	3		1			
	その他の運輸交通業	2		2					2		
	貨物取扱	2	5	-3	-60.0%	1			1		
農林業	農業	18	24	-6	-25.0%	5	5	1	2		4
	畜産	11	12	-1	-8.3%	5			1		5
	水産業	6	2	4	200.0%		1				2
	小売業	59	59	0	0.0%	33	4	2	10	6	2
	その他の商業	11	15	-4	-26.7%	7	1		2		2
	通信業	10	9	1	11.1%	3		1	2	2	1
	社会福祉施設	40	24	16	66.7%	8	2	8	16	3	1
	保健衛生業	8	9	-1	-11.1%	5		1			2
	その他の保健衛生業	5	9	-4	-44.4%	2	1		1	1	
	接客娯楽業	7	11	-4	-36.4%	4		1			1
その他	飲食店	11	10	1	10.0%	6		4			1
	その他の接客娯楽業	11	9	2	22.2%	9		1	1		1
	ビルメンテナンス業	33	31	2	6.5%	13		1	7	1	2
	その他(上記以外の全ての業種)	479	462	17	3.7%	168	31	33	117	52	29
	合計	8	9	-1	-11.1%						
	前年同期	172	30	-4	-2.3%	172	30	26	104	47	34
	増減数										
	増減率										
	増減率										

(注) 平成29年5月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

平成29年 死亡災害発生状況 (5月31日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	宮古	建設業 (港湾海岸工事業)	1月	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	移動式クレーン	クローラークレーン(200t)のジブの起伏ドラムに巻かれているワイヤーロープが乱巻きとなったので、ドラム付近で直していたところ、突然ジブが降下し、たるんでいた起伏ワイヤーが張り、頭部に直撃した。
2	二戸	農林業 (木材伐出業)	2月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	立木等	伐木作業中の被災者が伐倒木(ナラの木、全長22.75m、胸高直径50cm)の下敷きになっているのが発見され、病院に搬送されたが脳挫傷により死亡した。
3	盛岡	接客娯楽業 (その他)	2月	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	建築物、構築物	建物5階の屋上で作業中、屋上の端から地上に墜落(高さ15m)した。
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	移動式クレーン	被災者は、最大積載量10トンの車両積載形トラッククレーンに住宅用資材を積載し、新築住宅工事現場に向かったが、作業場所が狭隘であったため、近くの駐車場で、最大積載量3.75トンの車両積載形トラッククレーンに資材を積み替える作業を行っていた。作業を開始してまもなく、通行人がうつつ伏せて倒れていた被災者を発見、救急搬送されたが、翌日死亡した。
5	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	4月	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	交通事故 (道路)	トラック	千葉県から岩手県に荷物を運搬するため、常磐自動車道下り線を走行していた被災者の運転する大型トラックが、対向車線にはみ出し、同自動車道下り線を走行していたタンクトラックと正面衝突した。
6	花巻	製造業 (セメント・ 同製品製造業)	4月	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	建築物、構築物	プラントの貯蔵びん内補修工事に立ち会っていた被災者が、ホッパーの排出ゲートが開いた状態で排出されなかった骨材(砂)をスコップでほぐす作業を行っていたところ、砂に埋まり死亡した。

【表3】

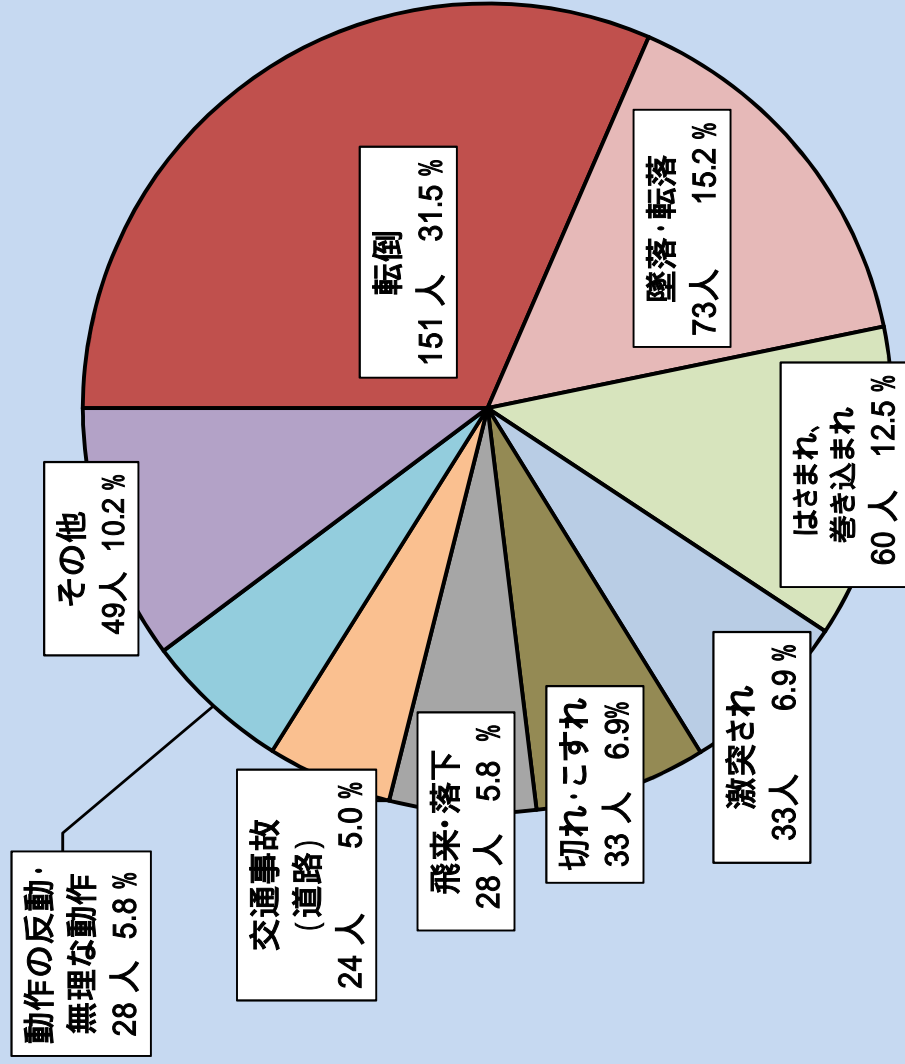
平成29年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

5月31日 現在

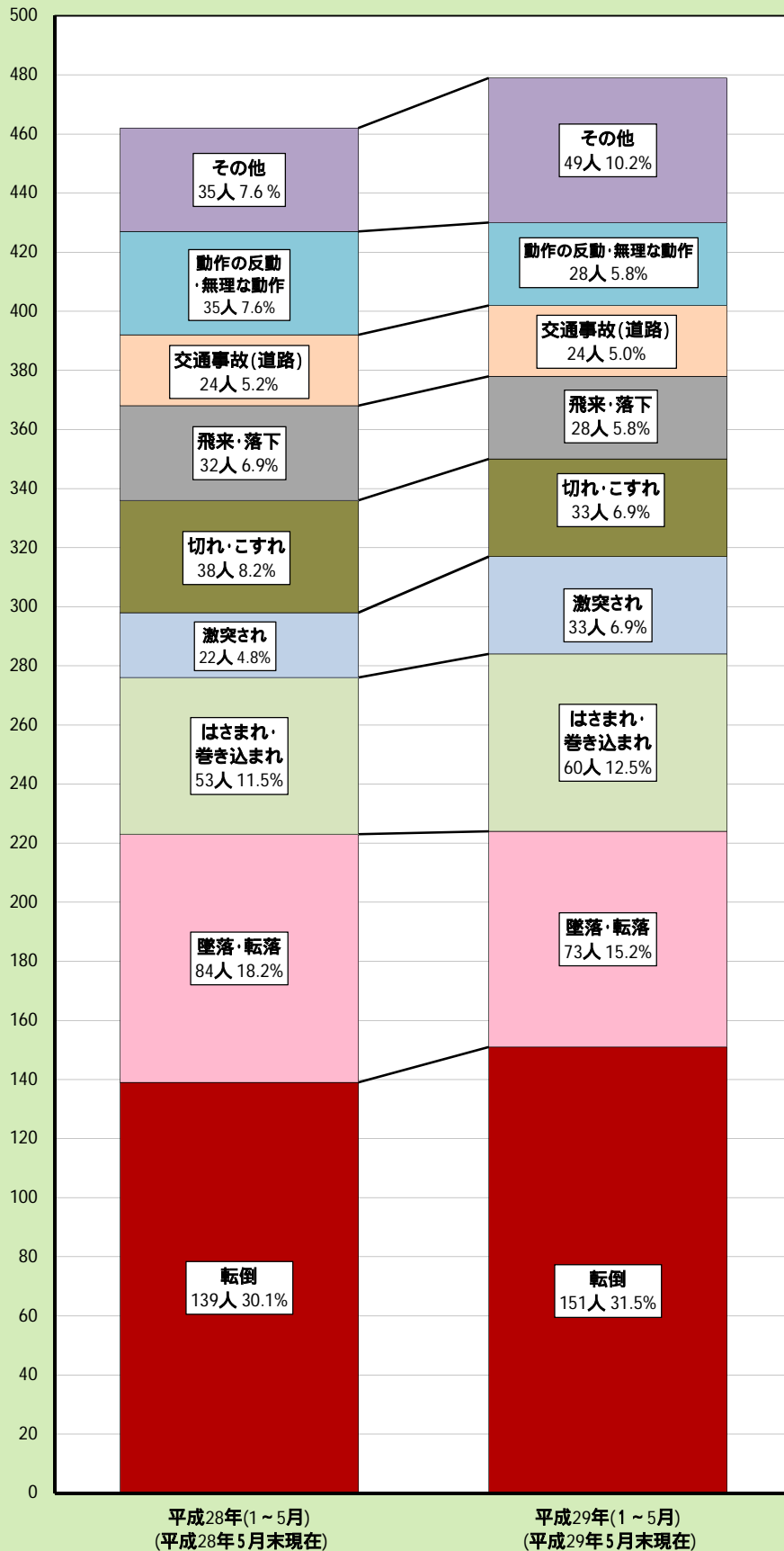
業種別	製造業 1人 (2人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 1人 (2人)	運輸業 2人 (0人)	農林業 1人 (3人)	商業 0人 (1人)	左記 以外 1人 (1人)
監督署別	盛岡 2人 (0人)	宮古 1人 (0人)	釜石 0人 (2人)	花巻 2人 (1人)	一関 0人 (1人)	大船渡 0人 (1人)	二戸 1人 (4人)
事故の型別	墜落・ 転落 3人 (1人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (1人)	崩壊・ 倒壊 0人 (0人)	激突 され 2人 (2人)	はさまれ・ 巻き込まれ 0人 (3人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)
	破裂 0人 (1人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (0人)	交通事故 1人 (1人)	その他 0人 (0人)
6人 (前年同期9人)							

注：()内は前年同期(5月31日までに報告があったもの。)

【グラフ1】 平成29年1月～5月 労働災害発生状況（事故の型別）
岩手労働局



【クラフ2】
平成28～29年 事故の型別労働災害発生状況



【参考】

労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

平成29年 1月～5月

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期増減率	月別発生状況													
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
製造業	水産食料品	8	9	-1	-11.1%	3	1	4	1	1							
	上記以外の食料品	24	28	-4	-14.3%	9	8	2	1								
	繊維・衣服その他繊維製品	8	3	5	166.7%	4	3	1									
	木材・木製品、家具・装備品	14	10	4	40.0%	4	3	3									
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1	0	0.0%		1										
	化学工業	5	6	-1	-16.7%	2	2	1									
	窯業土石	7	4	3	75.0%	1	1	2	3								
	鉄鋼業、非鉄金属	4	1	3	300.0%	1	1	1	2								
	金属製品	10	16	(1)	-6	-37.5%	2	(1)	4	3							
	一般機械器具	3	2	1	50.0%	1		1	1								
	電気機械器具	1	4	-3	-75.0%		1										
	輸送用機械製造	6	7	-1	-14.3%	2	1	2	1								
	電気・ガス																
	その他の製造	12	5	7	140.0%	2	2	5	2	1							
小計	103	(1)	96	(2)	7	7.3%	23	(1)	30	24	21	5					
鉱業	3	3	0	0.0%	1	1		1									
土木工事	36	32	(7)	4	12.5%	7	12	7	7	3							
鉄骨・鉄筋家屋	9	(2)	6	3	50.0%	1	2	2	(2)	2							
木造家屋	19	(1)	34	-15	-44.1%	3	(1)	2	5	3							
その他の建築工事	13	(1)	5	8	160.0%	3	4	(1)	3	3							
その他の建設	13	14	(1)	-1	-7.1%	4	2	3	3	1							
小計	90	(4)	91	(8)	-1	-1.1%	18	(1)	22	(1)	20	(2)	21	9			
運輸	45	(2)	40	(1)	5	12.5%	14	(1)	9	10	7	(1)	5				
道路貨物運送業	4	(1)	3	1	33.3%	2		1	1	(1)							
その他の運輸交通業	2	2	0	0.0%													
貨物取扱	2	2	0	0.0%													
農業	2	(1)	5	-3	-60.0%	2	(1)										
林業	18	24	-6	-25.0%	4	8	1	3	2								
畜産	11	12	-1	-8.3%	1	3	1	4	2								
水産業	6	2	4	200.0%	2	2	1	1	1								
小売業	59	(2)	59	(6)	0	0.0%	18	(2)	14	11	11	5					
その他の商業	11	15	(2)	-4	-26.7%	4	4	2	2	1							
通信業	10	(5)	9	(2)	1	11.1%	6	(3)		2	(2)	2					
保健	40	(4)	24	(1)	16	66.7%	15	(2)	11	5	(1)	6	3	(1)			
衛生業	8	(2)	9	-1	-11.1%	2	5	(2)	1								
旅館業	5	9	-4	-44.4%	1	1	1	1	2								
接客	7	11	-4	-36.4%	1	2	2	2	2								
娯楽業	11	(1)	10	1	10.0%	3	5	1	(1)	2							
その他	11	9	2	22.2%	1	7	2	1	1								
その他(上記以外の全ての業種)	33	(1)	31	(2)	2	6.5%	9	7	6	(1)	7	4					
合計	479	(24)	462	(24)	17	3.7%	127	(11)	132	(3)	91	(7)	88	(2)	41	(1)	

(注)平成29年5月末までの労働者死傷病報告による速報値である。()内は死亡者数(内数)である。()内は交通労働災害者数(内数)である。